

<週報No.2, 852> 2,963 回例会

2018年8月24日(金)

◆会長/古屋 了 ◆幹事/加藤 明博

◆司会=伊藤武利 S A A

◆ゲストビジター=諏訪グループガバナー補佐 小笠原弘三様、諏訪グループガバナー補佐事務局 藤森和彦様

◆出席報告

本 日	67.44%	16名欠席
前回訂正	86.36%	7名欠席

◆ラッキーナンバー=No.27 折井俊美君

◆ニコニコボックス ●古屋 了君、加藤明博君=小笠原ガバナー補佐、藤森会員ようこそおいでくださいました。本日は宜しくお願い致します。●増沢洋太郎君=小笠原ガバナー補佐ようこそ。宜しくお願い致します。●玉本広人君、岩波寿亮君、山田文雄君=小笠原ガバナー補佐ようこそいらっしゃいました。●小口秀孝君=欠席が多くご迷惑をおかけします。●瀬在昭男君=長期欠席申し訳ありません。今年度初回の例会参加宜しくお願い致します。明日、下諏訪漕艇場にて、N T T ボート部によるボート教室が9時から15時で開催します。興味のある方はご来場ください。●小島拓也君=欠席すみません。●ガバナー補佐事務局 藤森和彦君●川村総一郎君=誕生日として●折井俊美君=ラッキーナンバーに当たって。

◆会長告知・古屋 了会長=本日小笠原ガバナー補佐にご来訪いただきご指導いただいております。どうぞよろしくお願い致します。

この夏の会長告知では、家族の絆を結ぶ私の職業についてお話しさせていただいております。先週は、夏の感傷に浸りながら両親のことを綴らせていただきましたが、本日は処暑をむかえまして一節です。

さて、経済成長も熟した1972年、甲府で貸衣装業をしていた父方の叔父が、母に諏訪営業所を任せましたのが当社の始まりです。甲府の叔父夫婦は、叔母が京都のワタベウェディングの創業時の社員だったという縁で、夫婦支えあってアパートの一室で貸衣装をはじめ、結婚式場業へと事業展開しながら、来年は創業60年を迎えます。その諏訪営業所として始まった当社は、当初10坪に満たない小さな店でした。ご縁があって小林工務店さんのお

世話になって開業いたしました。間もなく父の勤務する原電気が倒産。事後処理の激務の中で父は病に倒れ、しばらくは母と仕事をいたしましたけれど、それから数年で亡くなりました。残された母はただ二人の子供のため、甲府の叔父夫婦の激励を受けながら、一時のもうけ話に耳を傾けることもなく、身近な方の信頼を一人また一人と結んでゆく地道な商売を貫きました。

一旦は教師となった私が茅野の永明小学校へ転任したのはバブルの絶頂期。校長室にもなぜかロータリーの四つのテストが掲げられておりまして、校長先生もロータリアンだったのかなあと思いました。そこには先生方を支えるPTAのお父さんたちの仲の良い姿がありまして、その中心となっていたのは矢崎和広さんをはじめとする茅野JCのメンバーやOB。また、自宅のある桑原町はロータリアンの人口密度が高く、甲府の叔父もまたロータリアン。時代は元気でした。こうして、私の中に「地域で生きる経営者への憧れ」という一つの“勘違い”が芽生えまして今に至っております。

さて、今月の結婚式で嬉しいできごとがありました。盆前に塩尻のフェリスクレールで私の友人のお嬢さんの結婚式をお手伝いし、感動のうちにお開きになった後のことです。新婦の上諏訪中学時代の友達だという二十代の男女5人を駅まで送迎した車の中で、素敵な会話のリレーがありました。第一声は女の子。「久々に泣いたねえ」「良い涙だったあ」「心が潤った!」「明日からまた頑張れそう!」「砂漠にオアシスって感じだね」「ほんと、いつもカピカピに乾いているからね」「仕事っていうか、明日からも生きられそうな感じ!」とこんな感じ。私はハンドルを握りながら、この若者の純粋な言葉のリレーを聞いて、晴れた道を運転しているはずなのに、我が目の潤いに臉のワイパーを動かしたくなかったひと時でした。

◆幹事報告・加藤 明博幹事=①本日はガバナー補佐事前訪問です。例会後にクラブ協議会がありますので、出席義務者は出席をお願いします。②本日クラブ協議会後に、古屋会長、藤森郁男社会奉仕委員長と私で、諏訪市役所へ30万円分の図書券を届けて参ります。③先週出来なかった梶川会員の入会セレモニーを行う予定でしたが、梶川会員の方で緊急オペアが入ってしまったため次週以降とします。④来週はゴルフ例会となりますが、親睦委員会の皆さんの発案で楽しい企画となっています。参加される方は楽しみにして下さい。⑤10月13日(土)14日(日)に2018

年～2019 年度地区大会が、伊那文化会館で行われます。13日は三井会員、古屋会長、私で参加をしますが、14日に関しては一人でも多くの方の参加をお願いします。後日詳しい案内文と、出欠の用紙をFAXします。又14日に当クラブからロータリー歴50年で、三井会員、太田会員が表彰されます。2600地区では5名の方が表彰をされるようですが、当クラブから2名の方が表彰を受ける事は大変名誉な事だと思います。⑥8月25日松本大学で行われる、ロータリー米山奨学セミナーに折井会員、当日午後から行われる財団地区セミナーに私が参加を致します。⑦出席免除権利者の方に権利取得伺いを出しておりますが、まだご回答頂けてない方がおられるので、恐れいりますが、早目の回答をお願いします。9月月初の理事会に図りたいと思っています。

◆委員会報告 会報・雑誌・広報委員会委員長 飯田兼光君  
 =過日広報委員会を開催し、メンバーの皆さんに「ロータリーの友」に対し関心を持っていただくためにどうしたらよいかということ話し合いました。以前、三井会員が「ロータリーの友は読まれざるベストセラー」と言われている、とおっしゃっていましたが、ロータリーの義務には、R Iの機関雑誌、または地域的なロータリー雑誌を購読しなければならない。とあり、「ロータリーの友」を読むことは私たちにとって義務なのです。そこで、会報委員会では、各月の週報執筆担当者が「ロータリーの友」の中から気になった記事を皆さんにお伝えするというのを月一回行おうということになりました。ほんの数分ですが、委員会報告で紹介する機会を取らせて頂きますのでお願い致します。

◆クラブ協議会(ガバナー補佐事前訪問)小笠原弘三諏訪グループガバナー補佐=ご紹介頂きました第2600地区諏訪グループガバナー補佐の小笠原でございます。古屋会長、加藤幹事の新年度も6回を迎え、皆様の協力のもと、



力強く順調にスタートされたこととご推察いたします。

振り返りますと、昨年11月12日、駒ヶ根商工会議所で第1回の研修

が開催されました。それからPETS、地区協議会、地区委員会など様々な委員会において三井パストガバナーのご指導を頂きながら、7月9日岡谷エコークラブを初日と

して事前訪問がスタート致しました。本日は5クラブ目のガバナー事前訪問となります。

ガバナー補佐の役割は何であるかと申しますと、ガバナーの意向、また、R Iテーマ、メッセージ、地区方針等をお伝えし、各クラブの活動状況を地区に報告をさせて頂きながら、ガバナーの公式訪問が充実した意義ある訪問にすることが役割でございます。

2600地区ガバナーは伊藤雅基ガバナーです。地区標語は「Find The Value ファイン・ザ・バリュー」価値を見出そうです。ロータリー活動の魅力は、親睦、異業種交流、地域・国際貢献の場であることは言うまでもありません。ロータリークラブや奉仕活動に対する一人ひとりの価値観、思い入れはそれぞれ違いますが、是非自分自身がロータリーにいる価値、魅力を見出す年にしていただきたいと思っています。

会長、幹事さんを中心といたしまして、各ロータリアンの皆さんと共に地域で感動を与え、認められる奉仕活動を実践し、価値ある奉仕活動を推し進めて参りたいと思います。何卒、皆様方の絶大なるご支援とご協力のほどお願い申し上げます。

ガバナーの公式訪問ですが、諏訪ロータリークラブには9月7日にお越しになります。その時に、2020年は日本ロータリークラブが100周年の年を迎えます。記念の鐘ができていようで、その鐘をお持ちしますので点鐘して頂きます。

諏訪ロータリークラブは、1957年(昭和32年)から62期目の伝統と歴史あるクラブで、古屋会長の思いである「肚を割り、思いやりをもって支え合う、人の絆こそ即奉仕」のもと、皆さんの意思統一が図られ、一丸となり奉仕活動に情熱をもって取り組まれており、格式ある素晴らしいクラブであると思います。

終わりになりますが、各クラブを訪問させて頂くことで私自身が勉強となり、ロータリー奉仕活動の価値や理解を深める機会となりました。より多くのロータリアンの皆様とお知り合いになれたことに感謝申し上げます。

#### ◆今後の例会日程

8月31日	金	ゴルフ例会(家族同伴BBQ)
9月7日	金	クラブ協議会(ガバナー公式訪問)
9月14日	金	準法定休日
9月21日	金	前年度決算報告・ロータリーの友月間

執筆担当：飯田兼光